

大田圏域地域医療構想調整会議（医療・介護連携部会） 議事概要

【日 時】令和2年12月3日（木）14時～16時00分

【場 所】大田市民会館 中ホール

【出席者】医師会、病院、歯科医師会、市町、介護支援専門員協会、訪問看護
ステーション、健康保険協会、健康保険組合連合会
計21名（保健所を除く）

【議事内容】

在宅医療等の追加的需要について、医療計画の中間見直しについて、
保健医療計画「在宅医療」の見直しについて

【主な意見・協議結果】

（1）在宅医療等の追加的需要について

・「在宅医療等の追加的需要」についての整理及び地域医療構想策定後の動
向を踏まえ、医療計画と介護保険事業計画との整合性を確認。

○大田市立病院

病床転換予定なし、リハ医が1名転院のため強化したい、池田地区の出張診療を行い、
地域医療をカバー。

○加藤病院

緩和ケア充実加算で質の向上を目指す。在宅を支援、約300名訪問診療、
発熱外来365日体制で往診、検査
医師の補充、介護スタッフの充足も課題。

○公立邑智病院

新病院の基本設計から実施設計へ。令和5年完成予定。

○加藤病院

新病院建築にむけて検討している。介護医療院転換も視野に入れている。
医療従事者の充足度、とりわけ介護職員の充足度が大きな課題。

医療介護総合確保法により、医療と介護がオーバーラップしてくる。

新病院建て替えとともに規模・時期・周辺施設・人材などさまざまな要因を含め考えてい
く

■既存施設の入所率について

○特別養護老人ホーム あさぎり

利用率の平均98%（50床であれば毎月1名が入院）

待機者が減っている。とくに中山間は待機者がいない。都市部は民間参入などで利用者の取りあいに。スタッフ不足から利用者減、全体的な縮小とつながる。

介護医療院を建てられても職員が減ってしまう。包括ケアにおける特養は難しい立場にある。医療介護の連携といているが、連携していかなければ、倒産してしまう。

○大田市介護サービス事業者協議会

80%をこえる利用率、介護職員の不足が原因。求人はしているが、外国人の受入も視野に。

体調を崩された方が入院され退院されても、病院と同じような医療提供体制がとれないため、再入所してもらえないことがある。再入所の受入病院との連携を図る必要がある。

■保険者から状況報告

○大田市

介護人材は、どの事業所でも不足している。即効性ある施策は見当たらない。介護助手を養成し、施設に就労してもらう事業を島根県とともにやっている。

○邑智郡総合事務組合

介護職員の入門的研修を川本町で実施。次年度より保険者主催で行っていく。

■在宅医療について

○大田市医師会

病診連携が最も大切、個々の医師が訪問診療を実施している。総合的な知識が必要であり、トータルケアができる医師が必要。多職種との連携が最も大切。

○邑智郡医師会

高齢独居の方が多。開業医への病院のバックアップが出来ている
独居では在宅看取りがほぼ不可能。行政と協力して進めていく必要がある。

■在宅居住系サービスの見込みについて

○大田市

在宅については現状維持。

居住系については、現計画の中にグループホーム2事業所が休止。それをカバーするために8期で新設。

○邑智郡総合事務組合

施設10床増。居住系養護老人ホーム、グループホームは現状維持（今年度1事業所が廃止）

■外来医療について

○大田市立病院

一般診療所が減る状況のなか、出張診療を予定。

○加藤病院

機能分化を徹底的に進めるべき。一般病床、救急告示病院は入院患者を今以上にとっていただく。外来医療については診療所にもっていただくことが必要。交通網などのインフラの整備と結びつけることが大切。基盤整備がなければ、開業医の後継者が帰ってこない。地域に開業医が帰ってくるかをかんがえることが必要。

○公立邑智病院

総合診療を行っているが、診療所支援を行っており公立診療所へ派遣している。今のままでは足りない。総合医を増やしたい。

○邑智歯科医師会

退院時ケアカンファにタッチできない。看護師、ケアマネは入るため、歯科医師の代弁者となってもらいたい。そのための口腔ケアサポーター研修をやっている。たとえば、こういった会議に参加できるようにすることや認定証の発行などやってもらってはどうか。

口腔ケアリーダーについて、住民の意見を聞く、地域リーダーを養成する。

行政の方はどんな情報を集め、どのように使うかは得意、そのような力も身につけていければ。

(2) 医療計画の中間見直しについて

・保健医療計画の中間見直し（全県編及び圏域編）

基本的な考え方及びスケジュールの説明

(3) 保健医療計画「在宅医療」の見直しについて

・大田圏域における医療介護連携の方向性及び大田圏域編 在宅医療 中間見直し（案）について、意見交換を実施。

○保険者協議会

重症化予防について、国保も糖尿病事業で、医療と連携している。表現に加えてはどうか。

○加藤病院

介護保険者との連携も表現に加えてはどうか。

○美郷町

大田圏域は、へき地医療、中山間である。小児科、救急医療、整形外科の医師確保について、圏域の問題として考えていきたい。

救急医療、へき地医療はぜひ検討していただきたい。

救急による骨折対応に必要な高齢者は増えている。他圏域への転送もある。

また、交通問題は必須。県の交通対策課との連携を図ることも考えてもらいたい。

医療計画と交通対策課と連携してほしい

オンライン診療にて医師だけでなく、薬剤師会との連携なども県でお願いしたい。

- ・医療計画の見直しについて、保健所の各種会議で検討。在宅医療については今回の案について文章で意見照会し、まとめていく。

3月地域保健医療対策会議を開催予定。

3. 報告

(1) 各保険者の第8期介護保険事業計画策定の進捗状況について

- ・大田市第8期介護保険事業計画の策定状況について
- ・第8期邑智郡介護保険事業計画策定の進捗状況について

(2) 病床機能再編支援事業について

(3) 4病院の意見交換会について

(4) 地域の医療機能を充実させる取組についての意見交換

(5) 第1回邑智郡地域連携推進協議会の報告

報告について特に意見なし。